

お客様各位

検査内容変更のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、下記の項目におきまして、検査内容を変更させていただきますのでご案内申し上げます。
今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

- | | |
|--------|------------------|
| 《変更日》 | 令和6年1月4日（木）受付分より |
| 《変更内容》 | 所要日数の変更（添付一覧参照） |
| 《変更理由》 | 検査体制の見直し |

総合 検査案内	検査コード	検査項目名称	変更内容	変更後	変更前	
P.1	0025	ウロポルフィリン 尿	所要日数 (日)	5～9	4～8	
	2768	δ アミノレブリン酸 (δ -ALA)		6～8	5～7	
P.4	0144	CK-MB (CPK-MB)		4～7	3～6	
	0155	リゾチーム 血清				
	0156	リゾチーム 尿				
P.5	0436	クレアチン 尿				
P.6	0604	ハイドロキシプロリン (糞)		6～13	5～12	
	5794	γ -アミノ酪酸 (GABA) 尿		7～14	6～13	
P.8	0276	HDL _{2,3} コレステロール		4～9	3～8	
P.12	0355	イオン化カルシウム		5～8	4～7	
P.14	0616	ビタミンC (アスコルビン酸)				
P.15	0389	鉄 (Fe) 尿		8～14	7～13	
	0396	銅 (Cu) 尿		4～9	3～8	
P.21	2769	2,5-ヘキササンジオン		7～13	6～12	
	2770	N-メチルホルムアミド				
	2747	トリクロル酢酸 (三塩化酢酸) トリクロルエチレン				
	2748	トリクロル酢酸 (三塩化酢酸) 1,1,1-トリクロルエタン				
	2749	トリクロル酢酸 (三塩化酢酸) テトラクロルエチレン				
	2756	総三塩化物 トリクロルエチレン				
	2757	総三塩化物 1,1,1-トリクロルエタン				
	2758	総三塩化物 テトラクロルエチレン				
P.23	0726	リドカイン 【薬物分析検査】	4～7	3～6		
	0728	キニジン 【薬物分析検査】	4～11	3～10		
	5043	ビルメノール 【薬物分析検査】	5～9	4～8		
P.24	0709	ニトラゼパム 【薬物分析検査】	5～8	4～7		
P.32	2508	17-KS 6分画	8～10	7～9		
P.33	2429	VMA (バニリルマンデル酸) 定量 尿	5～8	4～7		
	2433	HVA (ホモバニリン酸) 定量 尿				
	2465	L-ドーパ (L-DOPA)			7～21	6～20
	0133	メタネフリン分画			5～8	4～7
	0570	メタネフリン分画 (クレアチニン換算値)				
	2492	セロトニン (5-HT)			5～10	4～9
	2495	5-HIAA (5-ハイドロキシインドール酢酸)			5～8	4～7
P.35	2594	プレグナンジオール	8～10	7～9		
	2596	プレグナントリオール				

総合検査案内	検査コード	検査項目名称	変更内容	変更後	変更前
P.43	1209	ハプトグロビン（型判定あり）	所要日数 （日）	4～7	3～6
P.45	7217	P-Ⅲ-P （プロコラーゲンⅢペプチド）			
P.47	1343	抗RNP抗体 【オクタロニー法】		5～8	4～7
	1344	抗Sm抗体 【オクタロニー法】			
	1388	抗SS-A/Ro抗体 【オクタロニー法】			
	1389	抗SS-B/La抗体 【オクタロニー法】			
	1352	抗Scl-70抗体 【オクタロニー法】			
	1348	抗Jo-1抗体 【オクタロニー法】			
P.49	1360	抗脾臓細胞質抗体 （ICA,抗ランゲルハンス氏島抗体）		14～20	13～19
P.50	1363	血小板関連IgG（PA-IgG）		4～7	3～6
P.75	1806	日本脳炎ウイルス抗体 髄液【HI法】		6～10	5～9
P.77 P.125	7917	ヒトヘルペスウイルス7型DNA定性		5～12	4～11
P.78 P.126	1236	ヒトパルボウイルスB19DNA定性		5～8	4～7
P.97	1997	凝固第Ⅱ因子		4～7	3～6
	1998	凝固第Ⅴ因子			
	1999	凝固第Ⅶ因子			
	2000	凝固第Ⅷ因子			
	2001	凝固第Ⅸ因子			
	2002	凝固第Ⅹ因子			
	2003	凝固第ⅩⅠ因子			
	2008	凝固抑制因子第Ⅷ因子			
	2009	凝固抑制因子第Ⅸ因子			
	2007	第Ⅷ因子様抗原			
	2006	フォン・ウィレブランド因子活性 （vWF,リストセチンコファクター）			

注）不規則抗体（1307）の陽性時同定検査の実施施設は、従来の「エスアールエル」から弊社「総合研究所」に変更となります。なお、所要日数に変更はございません。